

□議員名：山田伸幸

1 新型コロナウイルス感染対策について

論点	今後のワクチン接種はどのように行われるのか。
回答	コロナの位置づけが2類から5類に引き下げられたことから、今後は高齢の方や一定の基礎疾患に位置づけられた方への定期予防接種として行われる。

論点	感染患者が処方される薬剤の値段が高く、患者の負担が大きくなった。薬剤の値段は、大体1万5,000円から約3万円となっている。市民の健康を守るためにも、高額な薬剤購入に対して補助が必要ではないのか。
回答	高額な負担については、医療保険における高額療養費などの既存制度を通じて、一定の負担軽減が図られるものと考えている。現時点において、新型コロナウイルスに特化した負担軽減策については、具体的な検討はしていない。

2 子ども誰でも通園制度について

論点	この制度は親の状況に関係なく、保育で見て貰えるようになる制度である。本市においては、様々な保育施策があるが、それでもなお、新しいこのような制度が必要と考えているのか。
回答	子ども中心の成長の観点から、すべての子どもの成長環境を整備することになり、保護者の負担軽減になると考えている。

論点	この制度が作られる際に、国会の議論でこの制度は子ども中心ではない。法律を作ったものの立場から言っているに過ぎないと指摘されている。保育をめぐる環境で一番の課題は保育を行う保育士の数が足りないことであり、この新たな制度が始まって本市で対応できるのか。人手不足の中で安定的に人材を確保し、保育の質を高めていくことができるのか。
回答	仮に本市で実施する場合には新たに保育士を募集することになる。保育の質の向上には研修や保育環境を整備するように努めていく。

3 宇宙監視レーダーについて

論点	7月に宇宙監視レーダーの実測試験が行われた。6月議会では実測試験に当たって、計測場所など指摘したが、市はどのような点に留意して実測試験に臨んだのか。
回答	測定では、施設外周の東側、西側、南側、北側などレーダーから近い場所のほか、施設近隣の民家や民間事業所の所在地点、および植生インターチェンジの料金所において実測が行われており、本市の要望に沿った測定場所の選定が行われた。

論点	実測試験には市民団体が立会いを求めているが、立会いをさせなかったのはなぜか。実測試験の結果はどうだったのか。
回答	市民の立会いには地元自治会の方が8箇所で11名の方が立ち会われた。現地は狭くこれ以上の参加はできなかった。試験データ上は問題ない数値だった。

論点	立会いを求めている市民団体から一人もさせないというのはおかしい。実測試験データの測定では、レーダーの出力などはわかっているのか。
回答	レーダーの出力は明らかではない。